

築上東 Music-Lovers' 巣雁コンサートプロジェクト

皆が作り上げた感動のコンサート

11月15日(土)、第11回築上東Music-Lovers' 巣雁コンサートを開催し、東上集会所は約150人の町内外の人で埋め尽せられました。前半は昨年、好評だった私たちバンド伴奏による生カラオケを行い、三世代家族やお父さんと子どもさんたちなど、9組の出場者の素人を超えた熱唱に、会場からは盛んに拍手が送られていました。

このコンサートは2011年の東日本大震災以来、東上特産品を生産者が販売し、収益の一部を義援金にするチャリティーコンサートとして開催して来ましたが、今回は復興テーマ曲の“花は咲く”を田島規子さんの絵本の朗読とドレミファコールinKOGEのコーラスに併せて、復興の映写と共に演奏しました。曲が終わった時には会場の皆の想いが一つになったようで、感動の一瞬でした。巣雁コンサートは会場の皆が作り上げてくれるコンサートだと毎回思わされます。

今回も多くの方にお世話になりました。団子汁を振舞ってくれた、「つむぎ手の会」や、東上地域のスタッフの皆さんに心よりお礼申し上げます。

※義援金として20,029円を被災地に送りました。ご協力ありがとうございました。

●問い合わせ先 築上東Music Lovers' 巣雁コンサートプロジェクト TEL 72-2178(貴村)



下唐原東区地域おこし会

地域で育てたサツマイモがたくさん採れました

下唐原東区地域おこし会で管理する畑で育ててきたサツマイモが収穫の時期を迎えました。このサツマイモは、地域の豊かな農作物を皆さんに知ってもらうことを目的に、10年以上前から下唐原地域で毎年育てられているものです。

11月5日(水)、大平保育所の園児を招待し、子どもたちの顔ほどに成長したサツマイモをたくさん掘りました。園児たちはこの日収穫したサツマイモを給食やおやつで食べました。

●問い合わせ先 下唐原東区地域おこし会 TEL 24-9430(宮本)



上毛町ドッジボール同好会「コウゲ・キッズ」

第4回コウゲカップ開催

10月26日(日)、第4回上毛カップを開催し、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、山口県から23チーム(コウゲキッズ含む)が参加し、約500名の来場者が上毛中学校体育館に集まりました。上毛町の地産品などたくさんの協賛をいただいたこともあり、全チームに副賞としてお渡しすることができました。

当日は、「吉岡交流会」をはじめ地域づくり活動団体にご協力をいただき、大変盛り上がりしました。ありがとうございました。帰り際に、「暖かい大会でした」「素晴らしい大会でした」など、たくさんの労いのお声をいただき、スタッフ一同感激しております。

最後に、大会の結果をお伝えします。優勝：駅川ソレイユ(大分県)、準優勝：高取ファイターズ(福岡県)、3位：有住NEW STARS(福岡県)でした。

●問い合わせ先 上毛町ドッジボール同好会「コウゲ・キッズ」 TEL 080-1710-0295(角)



吉岡交流会

活動資金づくり

11月1日(土)、2日(日)に、げんきの杜で開催された上毛町文化祭で手作りのお菓子を販売しました。

売上金は毎月1回行われる「生き生きサロン」で使います。

また、11月10日(月)に、廃油で石けんを作りました。ラベルは地域づくり活動団体の「絵本製作委員会」の皆さんがデザインしてくれました。廃油石けんは、襟、袖、靴などの汚れ落としにお勧めです。道の駅しんよしとみなどで販売していますのでぜひ使ってみてください。売上金は吉岡交流会の活動資金として資材の購入などに活用させていただきます。

●問い合わせ先 吉岡交流会 TEL 72-2548(矢岡)



吉岡巨石塚保全グループ

江戸時代の通信を再現

9月20日(土)、菊田町から大分県宇佐市までの各地で煙をたいてつなぐ「のろしりレー」が開催されました。京築地域と大分県北部地域の東九州自動車道開通を契機として、地域の魅力を発信できるように県域を越えた取組みで、今年で2回目です。

のろしは江戸時代の高速通信網で、のろし台は幕末に起きた黒船来航に危機を感じた江戸幕府が各藩に命じて設置させたものです。雄熊山にもろし台跡あり、以前から保全のため草刈りなどを行っていました。

この日は、ドラム缶に薪や生枝を詰めスタンバイ。多くの人が見守る中ドラム缶に火が無事着火され、勢いよく煙が上がりました。これからも多くの方々が雄熊山に訪れてくれるように活動していきます。

●問い合わせ先 吉岡巨石塚保全グループ TEL 72-3248(矢岡)



唐原子供神楽

頑張れ！若き神楽舞！

唐原神楽の門を叩いて、4年。お陰様で、彼らはすっかり大きくなり今は中学生。青春真っ只中でいっちゃまえに声変わりまですしています。神楽の基本もかなり身につけ、今は唐原神楽の18番である「大蛇退治」の大蛇の練習をしています。先輩方の厳しいご指導もあり、この秋数回の舞台を踏みました。大人の舞の辛さ、厳しさを痛烈に感じているようです。しかし、神楽の奥深さ楽しさをさらに知ること、より熱が入ってきました。

●問い合わせ先 唐原子供神楽 TEL 090-9601-3912(宮本)

